

気鋭のピアニスト・金子三勇士が挑む『ショパン VS リスト』

ロマン派を代表する二大作曲家の名作を一挙上演!

取材・文：小野寺悦子 撮影：友澤綾乃



若手実力派ピアニストの金子三勇士が、この夏ピアノ・リサイタル『ショパン VS リスト』を開催。ショパンとリスト、ロマン派を代表する二人の巨匠音楽家の対比に挑む。

「もともと僕にとってリストは特別な作曲家でした。というのもリストはハンガリー出身、僕にも半分ハンガリーの血が流れているので、やはり共感するものがある。また留学先はリストの創設した音楽院で、そこで学ぶうち彼の作品を広く紹介していきたくて考えるようになりました。一方ショパンはリストの親友であり良きライバルだった人物。二人の作品をぶついたらどんな化学反応が起こるのか、弾き比べてみたいし、聴き比べて頂けたらと思っています」

特に馴染みのある名曲を、後半はピアノ・ソナタをセレクト。当日は文筆家で文化芸術プロデューサーの浦久俊彦がナビゲーターを務め、トークを交え各々の関りを紹介していく。

「二人の関係性や音楽の繋がりについてお話しします。解説を踏まえた上で改めて曲を聴くと、普段とはまたちよつと違って聴こえるのでは」
なかでもリストのピアノ・ソナタには特別な思い入れがあるという。
「リスト音楽院在学中の12歳の時にこの曲を初めて聴き、大きな衝撃を受けました。ただ当時の恩師から複雑な曲なので18歳まで関わるのは待てと言われ、実際18歳の誕生日に初めて楽譜を手に入れています。以来一生掛けて付き合っていくと決めて、デビューアルバムやリサイタルなど節目ごとに取り上げてきました」

華やかなステージの影にあるのは、地道な作業の積み重ね。幾度となく演奏してきた曲も、繰り返し楽譜と向き合い、新たな気づきを模索する。

「僕たち演奏家の役割は、偉大な芸術家が残した数百年前の作品を現代のお客様に届けること。楽譜からいかに忠実に作家の意図を読み取るか、日々葛藤の繰り返しです。演奏をしていると、会場の空気がひとつにまとまる、奇跡のような一瞬が訪れることがあって。その瞬間、作曲家が意図したものを無事お届けできたのではという何よりの喜びを感じます。でもそれは減多にないことで、だからこそ化学反応が起こった時は本当に嬉しいし、その瞬間をみなさんと分かち合えたらと思っています」

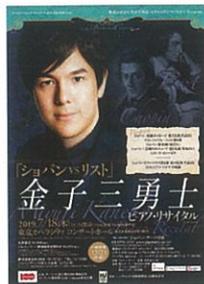
カンフェティ チケット 金子三勇士 検索

PROFILE

金子三勇士(かねこ みゆじ) / 1989年日本人の父とハンガリー人の母のもとに生まれる。6歳で単身ハンガリーに渡りバルトーク音楽小学校に入学、2001年ハンガリー国立リスト音楽院大学(特別才能育成コース)入学。2006年全課程取得とともに帰国、東京音楽大学付属高等学校編入。東京音楽大学を首席で卒業、同大学院修了。2008年バルトーク国際ピアノコンクール他数々の国際コンクールで優勝。第22回出光音楽賞、他を受賞。これまでゾルタン・コチシュ、小林研一郎、ジョナサン・ノット指揮等との共演の他国外でも広く演奏活動を行う。NHK-FM『リサイタル・パッサジオ』レギュラー出演。今年5月ニューアルバム『リスト・リサイタル』をリリース。



「ショパン VS リスト」金子三勇士 ピアノ・リサイタル



出演：金子三勇士(ピアノ) 浦久俊彦(案内役)
 (曲目)ショパン：英雄ボロネーズ 変イ長調 作品53
 リスト：コンソレーション 第3番
 ショパン：前奏曲「雨だれ」/ 黒鍵のエチュード 変ト長調 作品10-5
 リスト：ラ・カンパネラ
 ショパン：ピアノ・ソナタ 第2番 変ロ短調 作品35
 リスト：ピアノ・ソナタ ロ短調

日：2019年7月18日(木) 13:30開演(12:50開場) 場：東京オペラシティ コンサートホール
 料：5,000円(全席指定・税込)
 HP: <https://www.japanarts.co.jp/> 問：ジャパン・アーツびあ tel.0570-00-1212

24名限定! 5,000円 ▶ 4,500円 さらに700pゲット!

対象公演 7月18日(木) 13:30 24名 発売中